

2011年5月26日

除草剤フルミオキサジン（Flumioxazin）生産能力の増強について

住友化学は、除草剤フルミオキサジン（Flumioxazin、国内商品名「スミソーヤ」）の需要増加に対応するため、このたび大分工場（大分県大分市鶴崎）に、製造設備1系列を新たに建設することといたしました。増強設備は、2012年7～9月頃に操業を開始する予定です。これにより関連製品の全世界での売上高は、年間数百億円の規模に達するものと期待しております。

フルミオキサジンは、大豆、棉、サトウキビ等の栽培に使用される除草剤で、散布後長期間にわたって雑草の発生を抑えるとともに、作物の初期発育促進にも効果があります。また、世界的に広く使用されている除草剤グリホサートに対して抵抗性を有する雑草の防除にも有効な除草剤であり、需要が拡大しています。

当社はこれまで、米国で農薬事業を手掛ける子会社であるベーラントUSA社を通じて、米国における本剤の市場開拓を進め、販売を拡大してまいりました。近年の大豆作付面積の拡大による需要量の顕著な増加に加え、昨年10月にはモンサント社（米国の大手種子・バイオ・化学メーカー）との間で、農作物保護（雑草防除）分野における長期的協力関係の構築について合意し、同社の除草剤‘Roundup®’（有効成分グリホサート）抵抗性雑草向けの防除体系に本剤が組み込まれたことから、今後も大幅な販売の拡大が見込まれております。

当社は、需要拡大に伴い段階的に能力増強を実施してまいりましたが、今後のさらなる需要拡大に備えた安定供給体制の整備と、グローバルな農薬事業の拡大を目的として、本格的な増強を実施することといたしました。また、これに伴い、大分工場にて20名程度の新規採用を予定しております。

住友化学は、ライフサイエンスを重点分野の一つとして、農薬事業の強化・拡大を進めております。今回のフルミオキサジン増強はその一環であり、これにより事業基盤を一層強化し、今後も農薬事業を通じ農作物の生産性向上に貢献してまいります。

以 上